
2017年度 第6回

郵博 特別切手コレクション展

第5回ヨーロッパ切手展

展示作品解説パンフレット



主催

郵政博物館、特定非営利活動法人郵趣振興協会

展示団体

ヨーロッパ切手展実行委員会

後援

無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社

開催日時

2017年12月9日（土）13:00-17:30

2017年12月10日（日）10:00-17:30

会場：郵政博物館

展示作品一覧

カッコ内の数字は展示フレーム数です

デンマーク Rigsbankskillings issue (4) 原田 肇
1851年全国均一料金、前納として4RBS切手、コペンハーゲン市内便のため2RBS切手が発行されました。このRBS切手を展示します。

デンマーク Bi-colored issue (8) 原田 肇
同一図案で多額面の切手として発行されました。30年以上にわたり使われました。全ての切手を印刷順に展示します。

シュレスヴィヒ = ホルシュタイン公国 1850-1867 (2) 吉田 敬
デンマーク・ドイツ両国が領有を争ったユトランド半島南部に、1850-1851年および1864-67年に存在したデッドカントリーの伝統コレクションです。

グリーンランド (3) 小野寺 剛
グリーンランドが万国郵便連合に加盟した1938年以降の切手を、実通使用例や製造面バラエティを織り交ぜて展示。

ポーランドの歴史と郵趣 (8) 山本 勉
来年2018年はポーランドの再独立からちょうど100年。その複雑な歴史・郵便・郵趣の一端を当時のマテリアルを交えて紹介します。

六千人のユダヤ人を救った日本人 杉原千畝 (2) 荒木 寛隆
第2次大戦中のリトアニアで『命のビザ』を発給して6千人余のユダヤ人を救った杉原千畝の功績を切手とカバー等で追ってみました。

露領時代～独立期のバルト三国宛 日本発郵便 (1) 岩崎 朋之
日本 - バルト三国間郵便は見かける機会の少ないものです。本作品では貴重な露領時代から独立期までの日本発郵便を展示します。

オープン『フィンランド共和国』 (5) 菊池 達哉
フィンランド共和国の1917年の独立と、亡国の危機を乗り越えてきた苦闘の歴史を、一番切手その他の郵趣品を用いてスケッチします。

スウェーデンの国連維持軍の働き (1) 横山 宣子
国連平和維持軍。平和の為に戦っている軍隊。今も世界の数カ所に派遣されています。スウェーデンの収友にレスが輸送隊長としてレバノンへ行き、危険な任務の間に送ってくれた数々の実通便です。

上記作品に加えて、Denmark wavy lines types with hearts 1905-1930 (2, 木戸 裕介) Finland definitive series 1917-25 (2, 木戸 裕介) 「メーメル 1920-1923」 (1, 吉田 敬) を展示いたします。

切手コレクションの観覧順序

展覧会に展示される切手コレクションは、「展示リーフ」という用紙に整理されて展示されています。この「展示リーフ」は16枚ごとにパネルに収められ、各パネルで以下の順で展示されています。

1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	16

したがって、各パネルにおいては、展示リーフは、上段から、左から右へと、ご覧ください。

なお、切手コレクションの整理方法には様々なやり方がありますが、この展示方法は、分かりやすさ・コストなどの点で現在最も普及している方法で、日本だけでなく、欧米、アジア、オセアニア、アフリカの各国でも同様の方法が採用されています。

作品をご覧になられてのご質問や切手収集に関するご質問については、場内におります主催者・展示者にどうぞお声がけください。

Rigsbankskilling issue (4)

原田 肇

1851年全国均一料金、前納として4RBS切手、コペンハーゲン市内便のため2RBS切手が発行されました。このRBS切手を展示します。



Bi-colored issue (8)

原田 肇

同一図案で多額面の切手として発行されました。30年以上にわたり使われました。全ての切手を印刷順に展示します。



シュレスヴィヒ＝ホルシュタイン公国 1850-1867 (2)

吉田 敬

13世紀から15世紀にかけて、デンマーク王国領のユトランド半島南部には、シュレスヴィヒ、ホルシュタイン、ラウエンブルクという三公国がデンマーク王の属領として存在していました。

これら公国にドイツ人が多く居住していた事が二度のシュレスヴィヒ＝ホルシュタイン戦争の原因となりました。1848年にホルシュタイン公国が独立に向けた暫定政権を樹立すると、デンマークとプロイセンの出兵を招き、1851年にはデンマークによる領有を条件に休戦しました。この短期間に暫定政権は切手2種を発行し、それがこの地域における最初の切手となりました。

もともと1864年に第二次戦争が起きると、デンマークはプロイセンとオーストリーの連合軍に敗れ、三公国の範囲すべてを失い、同地では、再び独自の切手が発行されることになりました。ただ、1871年以降、同地はドイツ帝国の一部となり、その前に独自切手も消滅します。

二期に渡り発行された独自切手群の収集がシュレスヴィヒ＝ホルシュタインの伝統郵趣です。将来的に国際展を目指す予定ですが、本格的な収集をして日が浅い為、本日は2フレームのみでご紹介させていただきます。



グリーンランド (3)

小野寺 剛

この作品は、グリーンランドが「デンマークの一部」として万国郵便連合に加盟した1938年以降の切手を展示するカタログ・コレクションで、実通使用例や製造面バラエティを織り交ぜました。

グリーンランド切手は、カタログ・コレクションから一步踏み込んで収集を始めると、人口約6万人の島の切手ならではの独特の難しさにぶつかります。使用例では、簡単に見つかるのはデンマークやアメリカ宛の外信便で、島内でやりとりした国内使用例の入手に苦労します。また、第二次世界大戦中の使用例は郵便史の観点から実に興味深いものがあります。製造面では、再版する度に変わるプレートナンバーや微妙に変わるシェード、定常変種を追求できます。

今回の展示では、一番切手の制作過程で不採用となった図案5種のエッセイをご紹介します(※添付画像ファイル, 2図案分)。アザラシやホッキョクグマ、先住民族などを図案化したものでしたが、結果として、一番切手に採用されたのはデンマーク王クリスチャン10世の肖像でした。なお、これら不採用図案5種は、グリーンランド郵政が2001年に発行した記念切手 "Never-issued Stamps" で図案に取り上げられ、その存在が公に認められました。



ポーランドの歴史と郵趣 (8)

山本 勉

ドイツ、ロシア、オーストリアの三国から成るポーランドが再独立を果たしたのが1918年。来年2018年に100周年を迎えます。第2次大戦中は再びドイツとロシアに分割され、戦後、再び主権を取り戻しますが、国境は戦間期とは異なるという複雑な歴史を歩みます。

歴史が複雑であることは郵便史が複雑であることを意味します。その歴史と郵便について前半4フレームに時系列で、後半4フレームにポーランドの郵趣に関する事柄を展示しました。

前半の「1番切手の原画スケッチ」、「ロシア切手のポーランドにおける最初期使用例」、「ポーランドとロシアの混貼カバー」などはこの展示でしか見られません。

後半では「到着便」、「ポロニカ」、「ニセ物」といった、あまり展覧会では見られない話題を取り上げました。ポーランドに関する郵趣は大変幅が広く、1通のカバーで代表しているものでさえ一つの独立した研究テーマとなる場合が多くあります。例えばp.44下のハガキでは「ザオルジェ(チェコスロバキアとの係争地)」、p.45下のカバーでは「1939年以降のソ連占領下ポーランドの郵便」、p.47上のハガキでは「アンダーカバーアドレス」といった具合。なお、1945年までの事情は「郵趣」2010年2月号を乞参照。



六千人のユダヤ人を救った日本人 杉原千畝 (2) 荒木 寛隆

リトアニアのユダヤ人は14世紀以来『リトパック』と呼ばれて欧州最大のコミュニティを形成していたが、第2次世界大戦中のドイツ占領下でリトアニア人による大虐殺に遭遇する。

この戦雲漂うリトアニアの首都カウナス(当時)で1940年7月から2ヶ月間、日本領事代理の杉原千畝はポーランド等から逃れてきたユダヤ人達に日本通過ビザ(命のビザ)を発行して彼らの命を救った。

この事実は長い間ユダヤ人社会の中でしか知られていなかったが、1985年1月イスラエル政府は「諸国民の中の正義の人賞(ヤド・バシェム賞)」を贈ったことで杉原千畝の人的行為は世界中に知れ渡った。

一方、日本では2000年4月の「20世紀デザイン切手シリーズ第9集」で初めて杉原千畝の切手が発行され、同年10月になって漸く日本政府は杉原千畝の人的行為を公式に認めた。また、杉原の出身地八百津町に残された『命のビザ』関連資料は2017年ユネスコ『世界記憶遺産』の日本国内候補となった。

(1) リトアニアとユダヤ人、(2) リトアニアと杉原千畝、(3) 杉原千畝と日本・イスラエル及び世界、の三段構成で杉原千畝関連マテリアルを郵趣品に限らず展示しました。世界中で彼の功績を顕彰した足跡をお楽しみ下さい。



露領時代～独立期のバルト三国宛 日本発郵便（1） 岩崎 朋之

本展示は、戦前において、日本よりバルト三国に宛てられた貴重な使用例をご紹介します。1918年以前のバルト三国は帝政ロシアの領有下にありました。この時期、日本からロシア宛通信自体が少なく、その中でも、現在のバルト三国に該当する地域に宛てられた使用例は極めて少ないものです。本展示には、1912年のラトビア宛封皮など、3通のロシア領有時期バルト三国宛使用例を含んでいます。

1918年に独立を果たしたものの、小国のバルト三国と日本が通信を行う機会は少なく、いずれの国宛の使用例少ないものです。趣味的な通信（文通や絵葉書交換）や学術的な通信などが主に見られますが、商業的な通信はあまり見かけないようです。独立期間はわずか20年程度と短期間であり、この短い期間に日本と通信が行われた実例は意義のあるものでしょう。

この後、ソ連および、ナチスドイツの領有を受けることとなります。この時期のバルト三国宛使用例は、極めて短期間かつ、第二次大戦の混乱した状況のため、わずかなものしか見つかっていません。今回、実質的に日本の支配下にある上海から、ソ連占領下のエストニア宛使用例という、非常に希な例も展示しています。



1912年、ロシア領有下のラトビア Libau 宛 菊封皮使用外信書状

オープン「フィンランド共和国」(5)

菊池 達哉

フィンランド共和国はロシア革命の年 1917 年に独立を果たし今年 100 周年を迎えています。サンタクローズやムーミンでも親しみ深い同国は、独立後も度々訪れた亡国の危機を、小国ながらも国民の強い愛郷心と、卓越したリーダーシップによって克服してきました。

救国の英雄マンネルヘイムは言います「自らを守れない国を助けてくれる国はない」「大国の力をあてにしたり、利用することは、これに逆らうことと同じように危険である」と。人口 500 万人の同国は、現在も予備役 70 万人を戦力として投入できる体制を維持しています。大国ロシアと長い国境を接する地政学的宿命と向かいあったその歴史から、日本人が学べることは少なくありません。

郵趣とその関連材料を用いて同国の独立と軍事外交的苦闘の歴史をスケッチしてみました。主な展示品は、18 世紀スエーデン統治時代スタンプレスカバー、1845 年近代郵便創業時切手つき封筒使用済み、1856 年一番切手横ペア使用済み、フィンランド独立党コンニ・シリアクスが対ロシア諜報戦最中の日本軍明石元二郎の支援を受けたことを自ら語った雑誌記事日露戦争時乃木軍とロシア将校マンネルヘイム偵察部隊の交戦から 8 日後の乃木第三軍軍事郵便等です。



スウェーデンの国連維持軍の働き (1)

横山 宣子

国連平和維持軍（通称ブルーベレー軍）又は武器を持たない軍隊と言われ、敵対する二国の間に入って全面的に平和に解決するまでの時間を与える任務です。武器は国連総長からの命令が下って初めて使えます。

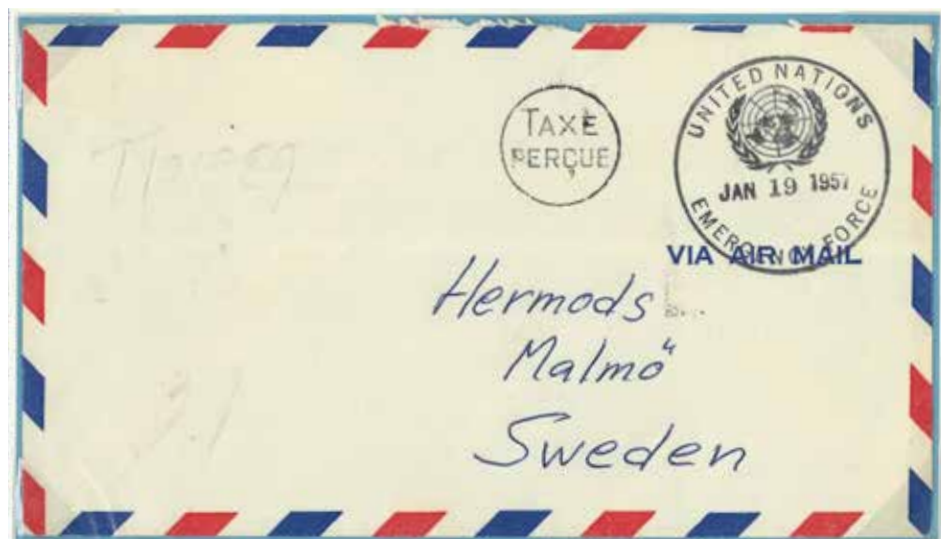
スウェーデン軍が最初に出兵したのは1956年のスエズ紛争の時、いわゆる第一次、第二次中東戦争の時です。

1960年にコンゴ動乱が起こり旧ベルギー領コンゴに、又、1969年にキプロスに出兵しました。

1973年10月6日には第四次中東戦争が始まり、シナイ半島はアラブ諸国とイスラエルの軍隊で埋まりました。

この戦争でオイルショックが始まり、日本ではトイレットペーパーの買い占めが始まりました。

エジプトとイスラエルは10月22日に休戦し、国連はこの休戦地域に平和維持軍を派遣しました。



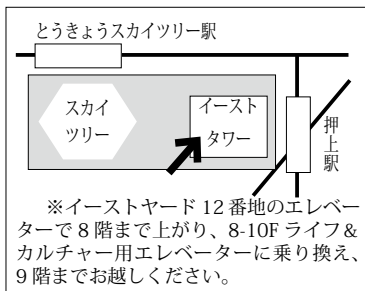
郵博 特別切手コレクション展

1902年(明治35年)に開館した「郵便博物館」に
その起源を遡る「郵政博物館」で開催される特別展です

2017年度に開催予定の特別切手コレクション展一覧

開催期間	特別展名
4/21-23	郵便制度史展 2017 ポスタル・ヒストリーのメイン・ストリームを織りなすコレクションの数々
5/13-14	沖縄本土復帰 45 年記念展 戦後 1972 年まで沖縄で独自に発行された「沖縄切手」コレクションが大集結
6/3-4	昭和切手発行 80 周年記念展 「昭和」の最高峰コレクションが揃い踏み
10/7-9	日本の記念特殊切手コレクション展 記念特殊切手の製造・発行・使用面を研究するグループの結成 10 周年記念特別展示
11/11-12	「心をつないだ年賀郵便の歩み ―そして未来へ」展 送り手の真心と郵政マンの努力の結晶「年賀郵便」の歴史を紐解く
12/9-10	第 5 回ヨーロッパ切手展 ヨーロッパ切手の本格コレクションが勢揃い
2018 年 2/3-4	第 1 回いずみ切手研究会展 わが国郵趣グループのトップ・ランナーの実力がここに明かされる
2018 年 3/3-4	安藤源成コレクション展 フィラテリー 70 余年の軌跡と名品の数々を含む円熟コレクションを一堂に

特別切手コレクション展の開催時間は原則として午前 10 時～午後 5 時半ですが、初日だけ 12 時開始になる事が多いので、ホームページでご確認の上、お越しく下さい。



郵政博物館への行き方

所在地 東京スカイツリータウン・ソラマチ 9 階
※イーストヤード 12 番地のエレベーターで 8 階まで上がり、8-10F ラーフ&カルチャー用エレベーターに乗り換え、9 階までお越しく下さい。

最寄駅 押上駅(東京メトロ半蔵門線、都営浅草線、東武スカイツリーライン、京成押上線)、とうきょうスカイツリー駅(東武スカイツリーライン)両駅から直結。